

お知らせ

七月例会
 期日…立教 187 年 7 月 25 日
 時間…15 時 30 分受付 16 時開始
 会場…天理大学 9 号棟 (ふるさと会館)

報告

五月例会
 去る 5 月 25 日、38 母屋 9 階大広間において「5 月例会」を開催。出席は 33 教区、104 直属。
各地の動き
 【直属学生層育成者講習会】

学生担当者報

・東本	5月16日	大教会	380名
・玉島	5月20日	大教会	159名
・浅草	5月21日	大教会	120名
・周東	5月21日	大教会	140名
・名東	5月22日	大教会	83名
・御津	5月22日	大教会	120名

・中紀	5月22日	大教会	130名
・南	5月22日	大教会	130名
・堺	5月23日	大教会	110名
・西宮	5月23日	大教会	70名
・佐野原	5月23日	大教会	80名
・豊岡	5月23日	大教会	101名
・南阿	5月23日	大教会	65名
・防府	5月23日	大教会	100名
・敷島	5月24日	大教会	300名
・北陸	5月24日	大教会	90名
・府内	5月24日	大教会	70名
・東神田	5月24日	大教会	80名

人事
 《立教 187 年 5 月 25 日付》
 【直属学生担当委員長辞令交付】
 ・立花 勇 (筑紫・豊國)
 ・欠田晃教 (名張・上津)

業務記録
 《立教 187 年 5 月 16 日～6 月 15 日》
 5月17日 学生連絡会
 24日 担当者活動部部会
 25日 委員会
 直属担当者懇談会 例会
 広報室会議
 6月5日 学修部部会
 6日 事務局連絡会
 7日 まなびばチーム会議
 12日 学修大学の部研究室会議
 13日 委員会
 春の学生おぢばがえりプロジェクトチーム会議
 学生連絡会

学生担当者報 7

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉
 Vol. 449 立教 187 年 2024 年 6 月 25 日発行
 TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp
 TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

「育成の夏 声掛けの夏」



副委員長

中山 祥吉

もうすぐ夏がやってきます。学生の育成に季節の良し悪しがあるのか分かりませんが、夏は育成するチャンスがたくさんあります。

「しってるよ」「私が初めて参加した時も?」「しってるはずだけど、どうしたの?」「今思い出し

こちらがうれしくなりました。今年の活動方針重点項目に「学生のおぢばがえりを推進しよう」とあります。これは、おぢばの行事に参加して、をやる息をかけたいただけでなく、

子どもおぢばがえりもその一つだと思ふ経験があります。数年前ですが、子どもおぢばがえりに参加してくれた未信者家庭の高校生 1 年生の女の子がいました。その子は中学生の頃から参加していた。2泊3日のおぢばがえり。初日の夜、子どもたちを寝かしつけた後、スタッフミーティングを行います。明日の流れを確認した後、私から参加者名簿を見せて、「この子とこの兄弟と、この子は初参加。まだ半日やけど、今日の雰囲気はどうやった?」ここに

「今回はスタッフだよ」と言われて、この女の子は参加者の立場から、声を掛ける立場になったと思つたのでしよう。さらには、楽しむ側から楽しませる側になったと感じてくれたようでした。次の日、初参加と伝えた子だけでなく、その他の子たちにも積極的

この夏、おぢばで行われる、子どもおぢばがえり、夏期リーダーの集い、学生生徒修養会高校の部。身近にいる学生の成人する姿を思い浮かべて、「この学生にどんな声を掛けようか?」と思いを巡らしたいと思ひます。

令和 6 年 学生担当委員会 活動方針
 「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

ブラジル伝道庁 HARP 研修会 出向報告

委員 幸田 真生

去る5月11日、ブラジル伝道庁において、昨年と同様に「HARP 研修会」が開催された。

今回は「感謝とひのきしん」というテーマで、日々の親神様のご守護への感謝、その感謝の気持ちをひのきしんで表すことの大切さを学ぶことができたなどの要望であった。その話を聞いて、頭に浮かんだのが2年前に開催された「学生生徒修養会 大学の部」であった。その時のテーマが「ひのきしん」で内容が今回のテーマに即していると思いい、その際に使用されたグループワークをベースに研修会のプログラムを作成した。

当日は21歳から82歳までの74人が参加され、七つのグループに分かれてスタートした。始めに簡単な自己紹介の後、他の人にあまり知られていない自分の意外な一面を紹介する「マッチ・レース」でお互いの親睦を深め、次に「目隠し探検隊」では日頃意識していない体の働きを感じ、親神様のご守護を改めて体感してもらった。伝道庁の神殿前広場で実施したが、ブラジルの気候はとても暑く、その日は気温が30度と日差しも強い中にもかかわらず、参加者は笑顔でいきいきと取り組んでおられた。メインの「あなたと思うひのきしんとは」でそれぞれが思い描くひのきしんをラベルに書き出し、それを整理して班で意見を出し合ってみると、全体で発表し合った。続いて「おはなし」の中で、「ひのきしんの基本教理」「ひのきしんは感謝の心が大切」等ひのきしんの意義に

触れた。最後に「背中に感謝プラス」では同じ班になったメンバーに感謝を伝え、そして一日を通して親神様のご守護について改めて感じたことを思い返し、感謝の心を養い、それぞれがひのきしんについて何が大切か考えてもらう内容で実施した。

ブラジルの方たちが思い描くひのきしんは、私たちが思うのと同じように、お掃除や人の手助け、優しい言葉を掛けるなどの意見が多く出ていた。そして全体発表では感謝という言葉がどの班からも出てきて、みなさん口をそろえて「ひのきしんには感謝がなくてはならない」と言っていることを通訳を通して聞いた時、この研修会のねらいを参加者がしっかり感じてくれていたと感じた。何人かの参加者が、「この研修会を通して他の人のしているひのきしんを聞け、自分の出来るひのきしんの枠が広がった」「ひのきしんのつとめ方の意識が変わり、周りにも自分が実践して伝えていきたい」と感想を話してくれた。そしてスタッフとして務めてくださった15人の委員さんが、それぞれの得意分野を発揮し、一手一つにこのご用を務める姿勢に、ブラジルの学生層育成を大切にされている熱意を感じた。翌12日には伝道庁の5月月次祭祭典講話に代えて、「学生層育成者講習会」を約370名の参拝者を対象に務めさせていただいた。そして13日には、サンパウロ州モジダスクルーゼス市にある津伯童教会にて、ミニHARP研修会を開催、夜の19時半開始にもかかわらず、若い方たちが43人も集まり、5班集体で「マッチ・レース」「あなたの思うひのきしんとは」最後に「おはなし」を実施し、伝道庁の「HARP研修会」と同様にひのきしんについてのグループワークを行った。当初は別のグループワークを行う予定であったが、スタッフから伝道庁での研修会の内容が良かったので「あなた

高校生の集い まなびば会場一覧

教区	開催日時	会場	会場責任者	連絡先
宮崎	7月20日13時 ～21日14時	酒谷 キャンプ場	黒木 陽助	070-1791-3377

青空

私は約10年前にあらき寮の幹事を勤めていました。大学を卒業したばかりだった私は、学生との接し方が全く分かりませんでした。また、当時私もまだまだ心の成人が足らず、いつの間にか自分の価値観を学生たちに押し付けていました。当然、学生たちからは反抗や反発もあり、うまく行っていませんでした。どうしたらいいのか悩んでいる時に、真柱様のお言葉をお聞きして、ハッとする機会がありました。それは、「共に育つ努力」という言葉でした。その言葉を聞いて、私は学生のために行っていたことが、自分のためになつていたと気付くことができました。今、学担のスタッフとして務める中で、当時の学生が春、夏の学修にスタッフとして携わっている姿を見て感激しています。今年の夏の学修も多くの学生たちを迎える立場として、「共に育つ努力」を忘れずに学生たちと一緒に暑い夏を乗り切りたいです。

人材育成部部員 田中直広

明日につながる 学生WEBSITE Happist

<https://happist.net>



QRコード読み取り

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介します
- おぢばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

学生に手渡しできるリーフレット
HAPPIST [NOT] NET

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。
部数のご変更は学生担当委員会事務局まで。



の思うひのきしんとは」に是非変更してもらいたいとの申し出があり、先ほどのプラグラムへと変更になったのである。その申し出はともうれしかったが、気掛かりだったのは「目隠し探検隊」を行っていないので、親神様のご守護への感謝の部分が抜けてしまわないか、そして「おはなし」の通訳をしてくれたスタッフが、ご用でおちばに帰らないといけないので、通訳が不在になってしまいうことだった。「おはなし」の原稿は通訳の方がすでに空港に向かっていたので無理かと思っただが、幸いにもデータを持っていたので送ってもらい事なきを得た。

ここでの研修会もみなさんひのきしんについて、今回のねらいを実感してくれていたことを発表の中で聞くことができ、また楽しみながら取り組んでおられる姿を見て、私の心配は杞憂に終わった。また、参加者の中に未信仰の方がいると知り、話をする機会を頂いた。その方はポーランド出身の男性で、友人に誘われ昨年の「HARP研修会」に参加し、とても興味を持ち今回も楽しみにして来てくれたのであった。受講の感想を聞くと「天理教の教えは他の教えとは違いとても魅力に感じている」「ひのきしんはボランティアと違い感謝が大事なんだと知ることができた。ひのきしんを考えるだけでなく日々行うことが大切なんだと思った」と感じたことをありのまま話してくださったのが印象的だった。

ブラジルに来て、現地の方の明るさやどんなご用も熱心に取り組み姿勢に触れ、大きな刺激を頂いた。この研修会を受けてくださったブラジル教友の方々から、ブラジルの地より感謝の心あふれるひのきしんの輪が広がっていくことを楽しみに、私も日々感謝の心でひのきしんに励みたいと思う。



Happist 毎月更新中 全36回

おやさまを求めて

本部准員 中山正直

おやさまのひながたをひとつひとつ分かりやすく解説。

今、この時旬におやさまのことをもっと学び、

温もりを心で感じ、深めてみませんか？



QRコードをスキャン！

立教 187 年 こどもおちばがえり
大学生ひのきしん隊 募集要項

日 程	令和 6 年 7 月 27 日 (土) ~ 8 月 4 日 (日) 各日 7 時 45 分受付~8 時集合完了 16 時 30 分散散予定 上記 9 日間のうち、参加希望日をお申し込みください。(複数日可) なお、遅刻・中抜け・早退はできません。
受 付	第三御用場 1 階
参加対象	大学生・大学院生・専門学校生
参加定員	各日 30 名
内 容	廻廊拭きひのきしん受け入れ・レクリエーション
服 装	ひのきしんにふさわしい服装 ※こちらが用意するひのきしんTシャツに着替えていただきます。 ※スカート、半ズボン、穴あきズボン、サンダルなどは不可。
申込方法	申込者本人が右の QR コードから、 Google フォームにてお申し込みください。
申込締切	7 月 15 日 ※締切を過ぎての申込およびキャンセルは事前にご相談ください。
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者へ、別途参加に関する連絡などは行いません。 ・合宿体制は取りません。自宅や詰所などから通いで参加となります。 ・詰所に宿泊する際の宿泊費用は各自でご負担ください。 ・昼食、夕食は用意します。 ・参加費は不要です。
お問合せ	学生担当委員会事務局【0743-63-2489 (直通)】9 時~16 時 30 分 ただし、7 月 27 日~8 月 4 日は【080-9723-0404】へご連絡ください。



立教 187 年 道の学生ひのきしん DAY 要項

《 趣 旨 》 道につながる学生が、それぞれの場所で日々の御守護に感謝して、一手一つにひのきしんに励み、身の回りの有り難いことをみつける。そして、仲間と共にひのきしんに勇む姿を親神様・教祖にご覧いただき、お喜びいただきたい。

《スローガン》 心晴れやかに、さあ勇もう！

《 期 日 》 立教 187 年 (令和 6 年) 9 月 16 日 (月・祝)

《 参加対象 》 高校生、大学生、短期大学生、大学院生、専門学校生など

《 主 催 》 天理教学生会

《 実施内容 》 8 月中旬以降、天理教学生会 Instagram にて会場一覧を掲載します。

《 お問合せ 》 (TEL) 天理教学生会 : 0743-63-1511

学生担当委員会 : 0743-63-2489

(FAX) 0743-62-5780

(郵送) 〒632-8790 天理郵便局私書箱 1 号 天理教学生会



@_TSA.TSA_